

# 全国協議会 ニュース

発行所  
全国骨髄バンク推進連絡協議会  
〒130 東京都新宿区 愛住町23-1  
Woody21-9階  
TEL.(03)3356-8217  
FAX.(03)3356-8637  
発行責任者  
渡辺孝一

中郵便振替口座中  
00150-4-15754  
中銀行口座中  
さくら銀行 新宿支店  
普通 5666655

## 公的骨髄バンク いよいよ五年目に いよいよ

いよいよ  
いよいよ

全国骨髄バンク推進連絡協議会  
会長 海部幸世



あけましておめでとうございます。また、新しい年を迎えることができました。公的骨髄バンク事業も今年には五年目という節目を迎えることとなります。おかげさまで、私たちが骨髄バンクは十分とはいえないまでも、大きな成果をあげてくることができました。この間の厚生省、骨髄移植推進財団、日本赤十字をはじめとする関係者の皆様のご協力には心よりの感謝を申し上げます。



## 心からのご寄付を ありがとうございました

11月21日～12月20日まで

高橋真知子	現金	30,000
大阪戎橋ライオンズクラブ	現金	1,000,000
西野慶子	切手	1,537
山崎久江	現金	5,000
広津美重子	切手	1,763
渋谷恒文	現金	10,000
鈴木秀平	現金	10,000
相田照男	現金	2,970
豊島明るい社会づくりの会	現金	250,000
旭メディカル大分第一研究室	現金	5,000
中野義樹	現金	5,000
備りバーストン	現金	10,000
寺田孝一	現金	300,000
阿原一良	現金	10,000
岩手県骨髄バンク推進協議会	現金	26,419
匿名	現金	10,000
ピアノ三重奏(千葉連絡会)	現金	365,000
ピアノ三重奏(福島協議会)	現金	87,726

(敬称略)

活動資金の援助をお願いします  
銀行口座  
さくら銀行 新宿支店  
普通 5666655  
郵便振替口座  
00150-4-15754  
全国骨髄バンク推進連絡協議会

## 骨髄バンクの最新情報をお知らせする——骨髄バンクNOW

★骨髄移植600例達成へ  
平成7年9月初旬に移植数500例を達成。その後10月度移植数37例、11月度移植数33例と順調に実施され、12月には600例達成となりました。  
関係各位、ならびに支援のボランティア団体各位に感謝と敬意を表します。  
平成8年度も、より一層のご支援をお願いいたします。

★新ポスター広報の旅に  
民鉄協会のご協力を得て(全国119カ所、延べ1450枚)賞賛力関のポスターの掲示をお願いしました。12月の骨髄バンク推進月間ちなみ、全国津々浦々にバンクの普及広報が行き渡ることを願うものです。

★新チャンス立て完成  
イラストレーター平松尚樹氏のデザインにより、新しいチャンス立てができました。ご希望の団体には随時、お送りいたします

[検査済ドナー登録者 68,770人]  
[患者登録者 3,581人]  
[移植件数 593件]  
(11月末現在)

★骨髄バンクへのお問い合わせは★  
フリーダイヤル0120-377-465

参る所存でございます。全国協議会におかれましても、これまで以上の御支援、御協力を賜りますようお願い致しますとともに、皆様方のご健康とますますのご発展をお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

日本赤十字社事業局血液事業部長  
船木剛朗



平成八年の新しい年を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。日本骨髄バンクが誕生以来、四年が経過し、その間、各地での普及啓発活動を始め、骨髄バンク事業の発展のための国民の皆様のご協力により、約七万人の方々に登録頂きました。また、患者さんのHLA型が一次検査で一致し、二次検査を済ませられた登録者の方も、四万五千人を超えるまでになっていることなど、骨髄バンクの順調な進捗が伺えます。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様方の全国各地における日夜のご尽力に対し、心から敬意を表しますとともに厚く御礼を申し上げます。

全国協議会運営委員長  
陽田秀夫



本年は、当面の目標である十万人のドナー登録達成のため、創意工夫を凝らしつつ積極的な普及啓発活動を進めてまいります。また、迅速かつ公正なコーディネート活動を推進するため、

あけましておめでとうございます。渡辺孝一前運営委員長からバトンタッチしてあつという間に半年が過ぎました。何もしないでも時は着実に流れます。八月の東京での「医療体制を考えるシンポジウム」、十二月の事務局

思われますので、ボランティア精神に支えられた国民運動として広く定着し、一人でも多くの患者さんの命が救われますよう、皆様の果たす役割も、益々大きくなると思われまします。貴協議会のさらなるご発展とご活躍を祈念するとともに、旧年にましてのご支援をお願い致します。新年のご挨拶とさせていただきます。

(財)骨髄移植推進財団理事長  
小池欣一



この事業の発展にとって、皆様方の役割は、今後ますます重要になって行くものと思っております。本年も、私どもに対しまして、引き続き温かなご支援・ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。貴協議会の益々のご発展と皆様方のご健康を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

人的・組織体制の整備を図り、一人でも多くの患者さんが骨髄移植を受けられるよう、一層の努力を傾注してまいります。さらに、海外の骨髄バンクとの連携の具体化や調査研究活動に取り組みたいと考えております。これらを実施するためには、多くの資金が必要であり、その確保が重要になっております。善意のボランティア精神に支えられるこの事業が、国民運動として各界各層に一層広がることを願っています。

の引越、テレカやティッシュ等グッズの製作、情報誌の発行準備と総て私以外の運営委員の皆さんのご努力で進んでまいりました。心より感謝申し上げます。各団体の皆様にとつて昨年はどのような年だったでしょうか。私の印象では骨髄バンク運動にとつてはまさに初めて経験する苦戦の年だったような気がいたします。皆さんが献身的なボランティア活動を展開しているにもかかわらずです。

昨年、ドナー登録数がその苦戦の状況を如実に物語っているように思えます。ドナー登録の数だけが重要なのでないことは百も承知ですが、今骨髄バンク運動がとつてもない大きな壁にぶち当たっている事はまちがいないでしょう。こうした状況の中で迎えた骨髄バンク開始後五年目の今年、私達骨髄バンクボランティアにとつても試練の年になる事でしょう。骨髄バンク運動の特効薬は無いものか。いや、そんなものがあるわけありませんね。着実な活動あるのみだと思います。しかし、こういう時こそ目標を

皆さんにとつて今年一年良き年でありましよう。またドナーを待つ患者さんにとつて必ずチャンスが訪れる良き年でありましよう心から祈りつつ新年のごあいさつと致します。

しつかり定め効率良い活動が求められるのかも知れませんが、そのような意味で全国協議会が今年早急に取り組みむべき目標を二点掲げておきたいと思っております。その一点目は、未組織地域での組織づくりのサポートです。ボランティア団体の無かった地域でその組織づくりが進められると、その後一時期確実にドナー登録が伸びる事が過去の事例が物語っています。二点目は、各団体が活用できる普及広報事業のメニューづくりであります。すこしでも効率良く効果の出る事業のメニューを各地の情報を集約したいと思っております。何はともあれ各団体の皆様のご協力がなければ成し得ません。よろしくご協力をお願い致します。

# 新春対談

## バンクの現状と今後の課題

### 高久副理事長と陽田委員長



「ドナーの登録が低迷する中、バンクの現状と今後の課題」をテーマに、財団副理事長の高久先生と全国協議会の陽田委員長との新春対談が行なわれました。対談に先立ち、陽田委員長から発刊間もない『微笑がえし』の本と、全国協議会が作成したばかりの『ハローキティポケットティッシュ』が贈呈され、対談は終始和やかな中で行なわれました。

「六百例の移植は大きな成果(陽田)」「財団と協議会はバンクの両輪(高久)」「陽田●明けておめでとう」

ざいます。本年もよろしくお願い致します。

高久●おめでとうございます。全国協議会の皆さんには、いつもご協力頂き感謝しています。陽田●わたしは八年前に妻が発病し、それ以来バンクの運動に係わってきましたが、昨年までに六百例の移植が実施され、そのことはたいへん大きな成果だとも思っています。運動を開始した頃のことを考えますと夢のような数字です。関係者の皆さんのご苦労に敬意を表します。

高久●ありがとうございます。元々、ボランティアの皆さんの熱意と努力がバンクが設立され

の養成も順調に進んでいますし、財団事務局の運営もスムーズになってきており、一定の評価も頂いています。問題は、ドナー登録が伸び悩んでいることですね。五年で十万人の目標、ということですが、現状ではなかなか厳しい。

陽田●ドナー登録が一昨年比べて半数に止まったことについて、わたしは深刻に受け止め、議論を深めています。又、ドナー登録だけでなく、マスコミに取り上げてもらう回数や、カンパやボランティア、イベントへの参加者なども総的に減って



そして今日を迎えました。バンク運動では、財団と全国協議会は車の両輪だと私はいつも思っています。不満な点もあると思いますが、一步一步前進しています。今後もよろしくお願します。

「現状では十万人の目標は厳しい(高久)」「参加者は絶対的に減少(陽田)」「陽田●昨年を振り返って、成果と問題点など出し合ってみようと思いがちです。」

高久●移植に関して、昨年も大きなトラブルも無く、四百例近く実施できたことは何よりだと思っています。コーディネート

の養成も順調に進んでいますし、財団事務局の運営もスムーズになってきており、一定の評価も頂いています。問題は、ドナー登録が伸び悩んでいることですね。五年で十万人の目標、ということですが、現状ではなかなか厳しい。

陽田●ドナー登録が一昨年比べて半数に止まったことについて、わたしは深刻に受け止め、議論を深めています。又、ドナー登録だけでなく、マスコミに取り上げてもらう回数や、カンパやボランティア、イベントへの参加者なども総的に減って

います。各加盟団体も知恵を絞って、多様な取り組みをしているのですが、決定打がない状況です。高久●ドナー登録に関して、アメリカでは協力した団体にお金を出しているという話ですが、日本の場合、どういふものかと思っています。

「末梢血幹細胞移植の推進を(高久)」「普及広報に工夫を(陽田)」「陽田●財団として今後の打開策をどのようにお考えですか。」

高久●移植に関してですが、アメリカのフレッド・ハッチソン病院では末梢血幹細胞移植が

沢山さん行なわれています。日本でも大いに推進する必要がありますが、保険採用の課題があり、厚生省に本気になってもらわないとむずかしい。全国協議会でもぜひ応援して欲しいと思います。

陽田●それは賛成です。是非やりたいと思います。高久●普及広報については、やはり財団がなんらかの方策を打ち出すべきと考えています。昨年作られた高校生向けビデオ(いのちのボランティア)は、私も見ましたが、大変良くできています。大いに活用してほしいと思いますし、広報委員会でも学生への働きかけを強めたいと言っておりますので、期待しているところです。

陽田●全国協議会も三周年、五周年と記念の大きなイベントをしましたが、次は十周年までありませんで、その間の定期総会を地方でやる、ちょっと工夫を凝らして、と考えています。地方のマスコミは大きく取り上げてくれますし、財団の全国大会も大変な面も多いと思いますが、地方を回られたらいかがですか。

高久●検討してみましよう。それから、先日、ミュージシャンの松山千春さんと対談する機会がありました。バンクの話をしましたら、大いに協力しましたよということになりました。財団でも若い世代にアピールできる人に沢山協力してもらおうと思っています。

「ドナー年齢の検討を(陽田)」「検討の価値あり(高久)」「陽田●ドナー年齢について一つ提案があるのですが、私もちょうど五十才になったこともこだわりの原因になっていますが、登録年齢を十八才からにして、提供年齢は二十才から五十五才迄にしたらどうでしょうか。」

高久●それは是非検討しましょう。陽田●本日はお忙しいところをありがとうございました。

# 全国大会'95 大成功



海部会長の祝辞、厚生省、東京都、日赤の来賓祝辞は今回もいずれも代読でした。

骨髄移植推進財団の主催による「骨髄バンク推進全国大会」が昨年十二月十六日、江戸東京博物館ホールで、全国協議会の協力により開催されました。全国協議会加盟団体の会員をはじめ、日本全国から関係者が集まり、四百五十名収容のホールはほぼ満席状態、決意も新たに、骨髄バンク発展の決意をそれぞれが誓いあいました。



〈第2部〉ドナーと患者は全員がお医者さんでした。左から大谷さん(司会)、移植患者の早川さん、ドナーの塚田さんと齋さん。



空いている席もありますが、立ち見もいっぱいでした。



〈第3部〉東京コミュニケーションアート専門学校の若さあふれるミュージカルのハイライトシーンです。



〈第3部〉上は古代真琴(右)&水野たかし。下は海援隊(千葉和臣&中牟田俊男)



〈第3部〉上は古代真琴(右)&水野たかし。下は海援隊(千葉和臣&中牟田俊男)

### 全国イベントカレンダー

〈1月〉

- 8〜18日 パネル展 埼玉県庁(埼玉)
- 15〜16日 世田谷ボロ市(東京)
- 27日 骨髄バンクヤングフォーラム神戸(関西)

※1月は静岡県内各地で「あやちゃん展」巡回。

〈2月〉

- 25日 公開シンポジウム「骨髄移植医療体制の理想を求めて」サンピア大阪(全国)
- 22〜3月15日 あやちゃんの贈り物展 川崎(神奈川)
- 29日 骨髄バンク登録推進ポスターコンクール 応募作品締切り日(神奈川)

お問い合わせは事務局へ

### 潮出版社

第14回潮賞 小説部門 受賞作

## しろがねの雲

秦野純 新・補陀洛渡海記

梅雨の晴れ間に、全の男が乗った第八号丸は左清水港を出発。一年後の男の死体を乗せて米西海軍に漂着。船主に受け取られた船の金庫には、白血病に罹った男の記録した渡航日記が残されていた。定価1300円税別

生命の連帯を叫ぶ問題作！

白血病を抱える人びとの生死観を描き、

### あけび書房

## 微笑がえし

ほほえみ

白血病とたたかう家族たちの絆 1600円送料310円

遠藤 允

陽田茂子、鈴木秀明、三瓶徳子、鈴木一弘など、病いと立ち向かいながら、骨髄バンク運動を創り、繰り広げてきた人びとの家族のドラマ。骨髄バンクの大切さを読者に伝える一冊！

東京都千代田区神田神保町2-12  
☎03-3234-2571 振替00160-6-40323

## フジテレビ

### 見て見ぬふりは やめましょの

フジテレビ

ポスター。福岡ダイエーホークスの協力で製作(九州)



# 一挙公開！ おらが町さの バンクグッズ



ブルゾン。(左)マホネット(右)九州



後ろ、ティッシュ。左より長野、富山、愛知、岐阜、愛知、神奈川、埼玉など

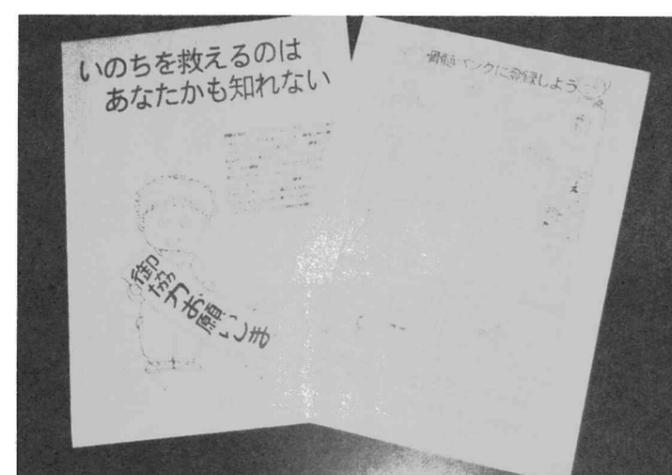
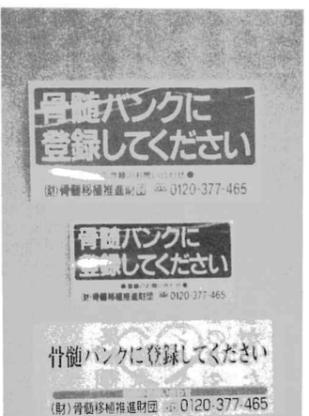


絵はがき。左後ろより、金色のくじら(茨城)あやちゃん(東京)リネカー(九州)押し花(静岡)草花(新潟)



(右)真帆ちゃんのメッセージ入りテレカ(マホネット)(左)押し花しおり(静岡)(左下)風船もっととぶくらめ骨髄バンク(岐阜)

全国協議会参加の各地団体が製作した様々な物品を集めてみました。これでもまだまだほんの一部、日本中で実にいろいろな種類のものが作られ、骨髄バンク普及啓蒙のために役立てられています。ボランティアの活力がそれぞれから伝わってきます。



チラシ。ふぢ子タスカル、藤谷みづる氏の協力で製作(富山)

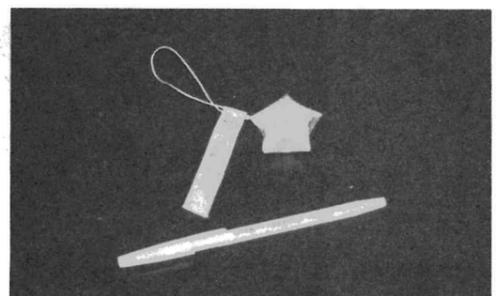


レジ袋。使い道多様、バザー等には必需品、PR効果絶大です。1枚5円(神奈川)



(上)水島新司さんの協力で製作。各地でチラシとしても活用されています(新潟)  
(下)明るいイメージ(マホネット)

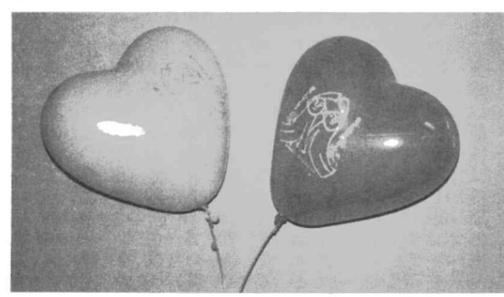
ステッカー。車にカバンに、いろいろなところに貼れます(上と中、長野と新潟。下、奈良)



手づくり品(新潟) ボールペン(九州)



のぼり。(左)新潟(右)富山



風船。もっと素敵が見えてくる、8色あり(静岡)



ポスター。静岡でも利用しています(長野) テレカにもなりました(東京)



手づくり品、小物グッズ。バザー等で大好評(埼玉)

# 各地のたより

各地のたより  
写真を添えて  
お寄せ下さい。

## 小牧 ドキュメント番組の 上映会

十一月二十八、二十九の両日、苦小牧市民活動センターでテレビ朝日番組「ザ・スクープ」の上映会を行いました。会場には骨髄バンクに関心をもつ市民で満席。真剣なまなざしに光るものをぬぐいながら見入る姿があちこちに見られました。「骨髄バンク」への正しい理解と知識を持つて頂き、尊い命を救うために素晴らしいことだと協力して頂きたい旨を訴えました。

## 埼玉 骨髄バンクの 広がりを実感

十一月二十五日に行われた、第五回読書感想文コンクール表彰式では、百三十校六百十四通の応募の中から、十八名の生徒に県知事賞をはじめ、賞状・記念品が贈られました。

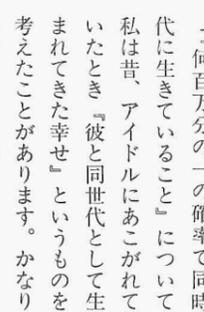


## 和歌山 県補助金もあり 推進月間に効果大

昨秋九月十四日患者家族が集まり和歌山血液疾患患者家族の会「ひこばえ」発会式を開いてから一年、月に一度の例会「井戸端会議」で会員の交流を図る他、正岡先生を始め多くの先生方に御足労いただき勉強会を開く等活動を続けてまいりました。一年目を迎え、記念行事として「わ紀あい愛音楽会」を十月二十九日に開催いたしました。前半は地域で活動をするマンドリンクラブ、高校OBの合唱団子供中心のミュージカルグループの出演。後半は、大谷さん、今里さん、宮地さんに代表北山が加わってのトーク、最後の出演者全員七十人近くでの「由紀子そのほかない生命のメッセージ」の大合唱は感動的だったとの感想をいただきました。開催にあたり県が補助金事業として下さった他、各報道機関も熱心に取り上げて下さりバンク強調月間でもある十二月十日の夜にはラジオ番組として放送される事も決まり嬉しく思っています。患者さんからも仲間に入りたいと申し出があったり、始めに考えた以上に沢山の協力を多くの方に御理解いただけましたこと、登録をされました報告等嬉しい話で忙しかつた事も忘れさせられました。中でも忘れられない一言は出演下さった子供さんのお母さんからいただいた「意義ある会に出演させていただけよかったです。来年十月十三日の二回目に向けて反省と企画を練っています。

## 愛媛 中学生も高い関心 シンポジウム開催

去る十一月五日、松山市の愛媛県総合福祉会館で、約百名の参加者を集めて「骨髄バンクを考える公開シンポジウム」を開きました。骨髄移植をめぐる医療情報にテーマを絞り、患者家族の内輪の集まりになりがちであることを反省し、今回のシンポジウムでは、骨髄バンク活動に何らかの形でかかわりたい一般人に、広くアピールすることを心がけました。



「何百万分の一の確率で同時に代に生きていること」について私は昔、アイドルに憧れていたとき「彼と前世代として生まれきた幸せ」というものを考えたことがあります。かなり俗的な話になってしまったのですが、もし、その人がこのような病気になるたら身を投げ出しても助けない。結局、バンク

今年度より、愛知県におきましても県主催の「骨髄バンク推進キャンペーン」が展開中です。内容としては、県独自のPRポスターを作成し、私鉄、地下鉄等の車内掲示、県内の主要団体への呼び掛け等であり、十二月十四日(木)には、愛知県芸術文化センターにてシンポジウムが開催されました。シンポジウムは式典後、森島泰雄氏(名鉄病院内科部長)による骨髄バンクの説明、谷真一郎氏(県立高校教諭)によるドナー体験談を聞かせていただいた後、特別講演として「どなたもドナーに!」と題して、つボイノリオさんの楽しいトークが行なわれました。平日の十四時から行なわれたにもかかわらず、会場には約二百名の来場があり、つボイさんのゆかいなトークに笑いのたえない楽しいシンポジウムとなりました。キャンペーン全体の内容としては、「少し物足りない」の声も一部ありましたが、これを機会に、愛知の会として、県との連携を強化し、活動の展開を図っていききたいと思っております。

講師は、毎度おなじみの大谷貴子さんに加えて、東京の会の会員でノンフィクション作家の遠藤允さんです。遠藤さんには「骨髄バンク運動の歴史・現状・課題」を報告してもらい、パネルディスカッションでは、愛媛ののちの電話理事の三谷高康さんも加えて、ボランティア活動一般への意識を高めるといふ観点から、「今、あなたにできること」を話し合いました。

文化祭に中堀由希子さんを描いた劇を創作して上演するという地元中学生三人が、新聞で開催を知って駆けつけ、あこがれの大会に花束を贈呈するという一幕もありました。

「何百万分の一の確率で同時に代に生きていること」について私は昔、アイドルに憧れていたとき「彼と前世代として生まれきた幸せ」というものを考えたことがあります。かなり俗的な話になってしまったのですが、もし、その人がこのような病気になるたら身を投げ出しても助けない。結局、バンク



「何百万分の一の確率で同時に代に生きていること」について私は昔、アイドルに憧れていたとき「彼と前世代として生まれきた幸せ」というものを考えたことがあります。かなり俗的な話になってしまったのですが、もし、その人がこのような病気になるたら身を投げ出しても助けない。結局、バンク

「何百万分の一の確率で同時に代に生きていること」について私は昔、アイドルに憧れていたとき「彼と前世代として生まれきた幸せ」というものを考えたことがあります。かなり俗的な話になってしまったのですが、もし、その人がこのような病気になるたら身を投げ出しても助けない。結局、バンク

「何百万分の一の確率で同時に代に生きていること」について私は昔、アイドルに憧れていたとき「彼と前世代として生まれきた幸せ」というものを考えたことがあります。かなり俗的な話になってしまったのですが、もし、その人がこのような病気になるたら身を投げ出しても助けない。結局、バンク

「何百万分の一の確率で同時に代に生きていること」について私は昔、アイドルに憧れていたとき「彼と前世代として生まれきた幸せ」というものを考えたことがあります。かなり俗的な話になってしまったのですが、もし、その人がこのような病気になるたら身を投げ出しても助けない。結局、バンク

「何百万分の一の確率で同時に代に生きていること」について私は昔、アイドルに憧れていたとき「彼と前世代として生まれきた幸せ」というものを考えたことがあります。かなり俗的な話になってしまったのですが、もし、その人がこのような病気になるたら身を投げ出しても助けない。結局、バンク



「何百万分の一の確率で同時に代に生きていること」について私は昔、アイドルに憧れていたとき「彼と前世代として生まれきた幸せ」というものを考えたことがあります。かなり俗的な話になってしまったのですが、もし、その人がこのような病気になるたら身を投げ出しても助けない。結局、バンク



内村氏



河村氏

何をやるのか  
地区普及広報委員  
若木 換  
(東京の会事務局長)

今年の総会は  
苦小牧開催を予定  
第4回全国代表者会議

## 福岡 患者家族主催の イベント開催

十二月九日患者家族の会(リボンの会)主催で二周年の集い「基樹と語る骨髄バンク」と題したイベントを開催しました。九十二年九月に発足したリボンの会の二周年を記念して企画したのですが、これからの骨髄バンク運動を考え、患者とその家族の真の姿、生の声を多くの人に知っていただくことが重要だと考え、患者家族が主体的に動いたもので、これまでのボランティアに頼って来た状況から見ると、大きな一歩だと思われまます。当日は一般の方や行政機関の方等、参加も多かったと言え結果が得られました。

今年六月、財団が「地区普及広報委員」を一般から広く公募する事を耳にしました。全国の各地域にはすでにボランティア団体が存在し、各地域に根ざした草の根的な「普及広報」活動を日常的に行なっているのに、その地区に財団として別な組織を作る目的は何なのか、公募の資料を取り寄せましたがその意図がわかりません。七月二十二日のボランティア意見交換会でも同様な質問に対し明確な答えが返ってきませんでした。そこで、地区普及広報委員会を作った目的と、ボランティア団体との関係を今後どのようにして行くのかについての財団の考え方を知りたいと思応募しました。

第四回全国代表者会議は、全国大会の翌日の十七日に、文京区勤労福祉会館で開かれました。運営委員会からは、情報誌が完成間近で一月下旬に発送予定であること、本年度の総会は地方でやりたい、等の報告・提案があり、苦小牧支部の山口代表から誘致の発言があり、その方向で検討することになりました。次に、外部講師を招いて二つの講演が行われました。概要は次の通りです。法案は NPO (市民公益団体) 法案について

はそういう気持ちで成り立っていると思えます。だからCM等で宣伝していくのであれば、そういう風にしていくのも一つの手段ではないか

のどのシンポジウムより印象深いものとなりました。これを契機に、骨髄バンク運動と患者家族の未来に希望を持って活動して行くことが出来るでしょう。

まわりの全ての人達に「ありがとう」を言いたい気分でした。(宮地)

新進党NPO議員立法専門委員会座長の河村たかし氏は、法案の必要性、特別法にした理由など、法律面から詳しく解説。法案が成立した場合の資格要件として、①十人以上の会員②五十万円以上の基金③役員④三分の二が同一都道府県に在住⑤会員の過半数も同様⑥主たる活動の範囲も同様、の五つが必要であることを説明されました。法案の動向については、十一月に議員立法として提案したが、今国会では継続審議になった。来年の国会で成立させるためには、各団体の支援活動やマスコミの活用が求められている、と結びました。

代表者会議の参加者

「何百万分の一の確率で同時に代に生きていること」について私は昔、アイドルに憧れていたとき「彼と前世代として生まれきた幸せ」というものを考えたことがあります。かなり俗的な話になってしまったのですが、もし、その人がこのような病気になるたら身を投げ出しても助けない。結局、バンク

「何百万分の一の確率で同時に代に生きていること」について私は昔、アイドルに憧れていたとき「彼と前世代として生まれきた幸せ」というものを考えたことがあります。かなり俗的な話になってしまったのですが、もし、その人がこのような病気になるたら身を投げ出しても助けない。結局、バンク

「何百万分の一の確率で同時に代に生きていること」について私は昔、アイドルに憧れていたとき「彼と前世代として生まれきた幸せ」というものを考えたことがあります。かなり俗的な話になってしまったのですが、もし、その人がこのような病気になるたら身を投げ出しても助けない。結局、バンク

「何百万分の一の確率で同時に代に生きていること」について私は昔、アイドルに憧れていたとき「彼と前世代として生まれきた幸せ」というものを考えたことがあります。かなり俗的な話になってしまったのですが、もし、その人がこのような病気になるたら身を投げ出しても助けない。結局、バンク

「何百万分の一の確率で同時に代に生きていること」について私は昔、アイドルに憧れていたとき「彼と前世代として生まれきた幸せ」というものを考えたことがあります。かなり俗的な話になってしまったのですが、もし、その人がこのような病気になるたら身を投げ出しても助けない。結局、バンク

「何百万分の一の確率で同時に代に生きていること」について私は昔、アイドルに憧れていたとき「彼と前世代として生まれきた幸せ」というものを考えたことがあります。かなり俗的な話になってしまったのですが、もし、その人がこのような病気になるたら身を投げ出しても助けない。結局、バンク

「何百万分の一の確率で同時に代に生きていること」について私は昔、アイドルに憧れていたとき「彼と前世代として生まれきた幸せ」というものを考えたことがあります。かなり俗的な話になってしまったのですが、もし、その人がこのような病気になるたら身を投げ出しても助けない。結局、バンク